

保証書

持ち込み修理 無償修理規定

- 取扱説明書の注意にしたがった使用状態で故障した場合のみ無償修理いたします。
 - 保証期間中でも次の場合には有償修理となります。
 - (イ) 使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造等による故障や損傷
 - (ロ) お買い上げ後の輸送、移動、落下等による故障および損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛け等による故障および損傷
 - 保証期間中の交換
 - (ニ) 乾電池などの消耗品の交換
 - (ホ) 本書の提示がない場合
 - (ヘ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは文字を書きかえられた場合
 - (ト) 本品本来の用途以外に使用された場合の故障や損傷
 - (チ) 一般家庭用以外(例:業務用、または業務用に準ずる使用方法)で使用された場合の故障及び損傷
- 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
 - 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。

型番：ASP-2039Z 品番：03-2039	★お買上日： 年 月 日
	保証期間：本体 1 年間
お客様	★お名前 様
	★ご住所 (〒) 電話 ()

※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。保証期間経過後の修理についてご不明の場合はお買い上げの販売店またはオーム電機修理係にお問い合わせください。

※この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

販売店	★住所 店名 電話
	(印)

(注)★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください(販売証明シール等は有効です)。

©OHM 株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
<http://www.ohm-electric.co.jp>

修理ご相談センター
048-992-3970(有料)

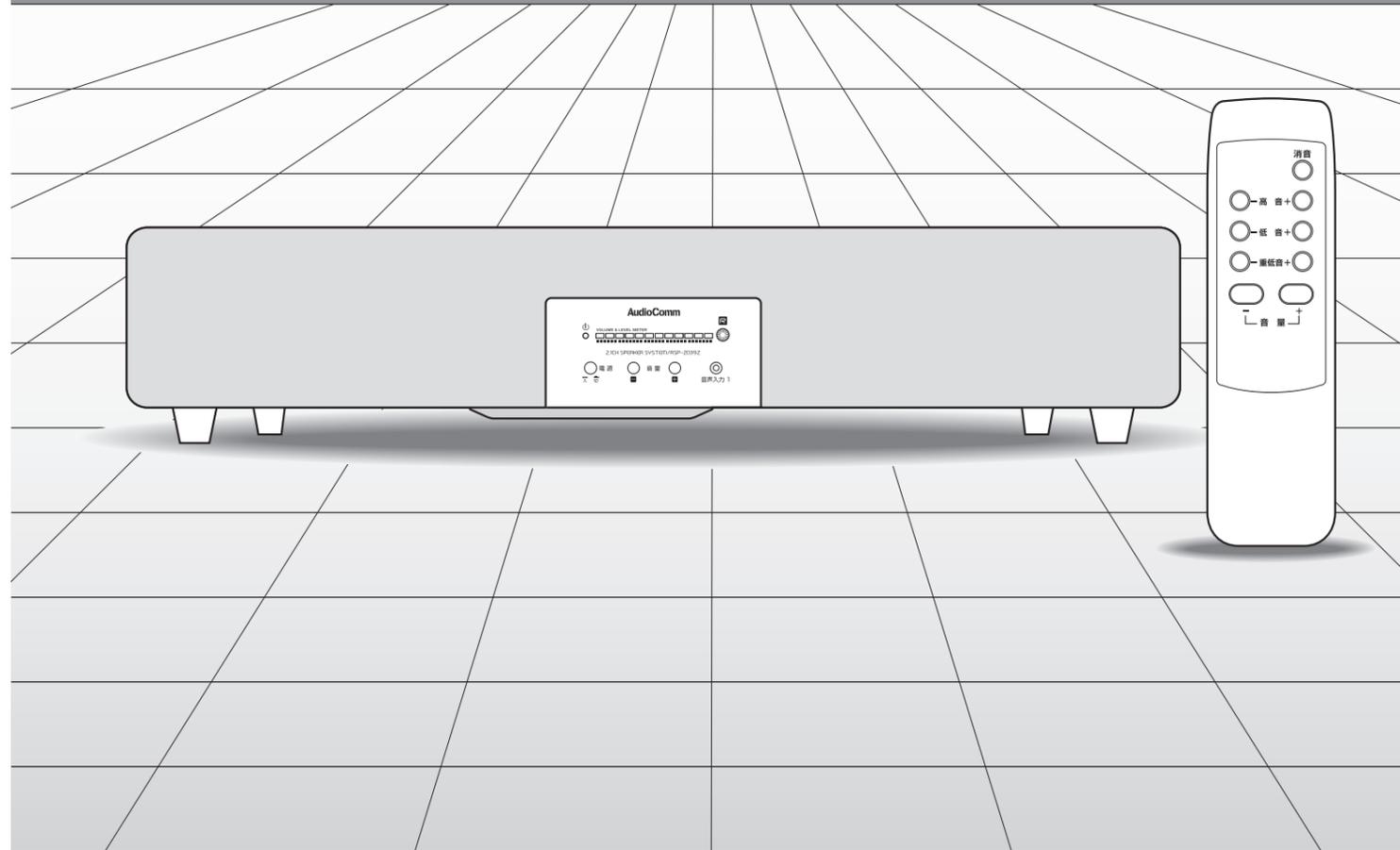
電話対応時間：月～金/9:00～17:30 土/9:00～17:00(日・祝休み)

お客様相談室
フリーダイヤル(無料)
0120-963-006
※携帯電話・PHS・公衆電話からはご利用になれません。
携帯電話・PHS・公衆電話からは
048-992-2735(有料)

AudioComm®

取扱説明書 保証書付

TVボードスピーカーシステム 型番：ASP-2039Z



このたびは、AudioComm®
TVボードスピーカーシステムをお買い上げいただき、
誠にありがとうございました。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。本機の性能を十分に発揮させ、安全にお使いいただくためにも、ご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みください。なお、お読みになられた後は、ご使用時にいつでも見られますように大切に保管してください。

安全上のご注意

電気製品は間違った使い方をすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取り扱いを誤った場合に予想される事故の大きさによって3段階に表示しています。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

絵表示の使用例

	危険	この表示を無視して、誤った取扱をすると、火災、感電、破裂などにより死亡したり、大けがなどを負う可能性が想定される内容です。
	警告	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
	注意	この表示を無視して、誤った取扱をすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定される内容です。
	△記号は、注意(危険、警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。(左図の場合は感電注意が描かれています。)	
	○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。(左図の場合は分解禁止が描かれています。)	
	●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。(左図の場合は、電源プラグをコンセントから抜く、が描かれています。)	

警告	
異常の時はコンセントから抜く	●万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常を感知したら、すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理を依頼してください。
水が入った場合はコンセントから抜く	●万一、内部に水などが入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
異物が入った場合はコンセントから抜く	●万一、機器の内部に異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
分解禁止	●本体を修理、改造しないでください。火災・感電の原因となります。
禁止	●この機器を使用できるのは日本国内のみです。自動車・船舶などの直流 DC 電源には接続しないでください。火災の原因となります。
コードを交換する	●電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、使用を中止し、修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
	●雷が鳴り始めたら、安全のため電源プラグを抜いてください。
	●浴室やシャワー室など、湿度の高いところや水はねのある場所では使用しないでください。火災や感電の危険があります。
	●表示された電源電圧交流 100 ボルト以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
	●リモコンの乾電池を取り外した場合は、小さなお子様が乾電池を誤って飲み込むことがないようにしてください。乾電池は幼児の手の届かないところへ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。
	●本体や電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本体の下敷きにならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気づかず重いものをのせてしまうことがあります。
	●電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。

注意

	●調理台や浴室、加湿器のそばなど、湯煙や湿気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。	コンセントから抜く	●お手入れの際には安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。感電の原因となることがあります。
	●ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。		●濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。 ●電源プラグを抜く時は、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
	●電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。		
	●窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、故障の原因となることがあります。	コンセントから抜く	●移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部機器などのコードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。コンセントから抜く時は必ずプラグ部分を持って抜いてください。
	●湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。		●ご使用になる時は、音量を上げすぎないようにご注意ください。近隣の迷惑になるとともに、耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
乾電池の電極性に注意	●リモコンに電池を入れる時は、極性表示(プラス+とマイナス-の向き)に注意し、表示通り正しく入れてください。間違えますと電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。		
	●指定以外の乾電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使わないでください。乾電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。	コンセントから抜く	●旅行などで長期間本機をご使用にならない時は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜き、乾電池も取り外してください。火災・液もれの原因となることがあります。

※この製品の故障、誤動作、不具合などによって発生した損害などの附随的損害補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

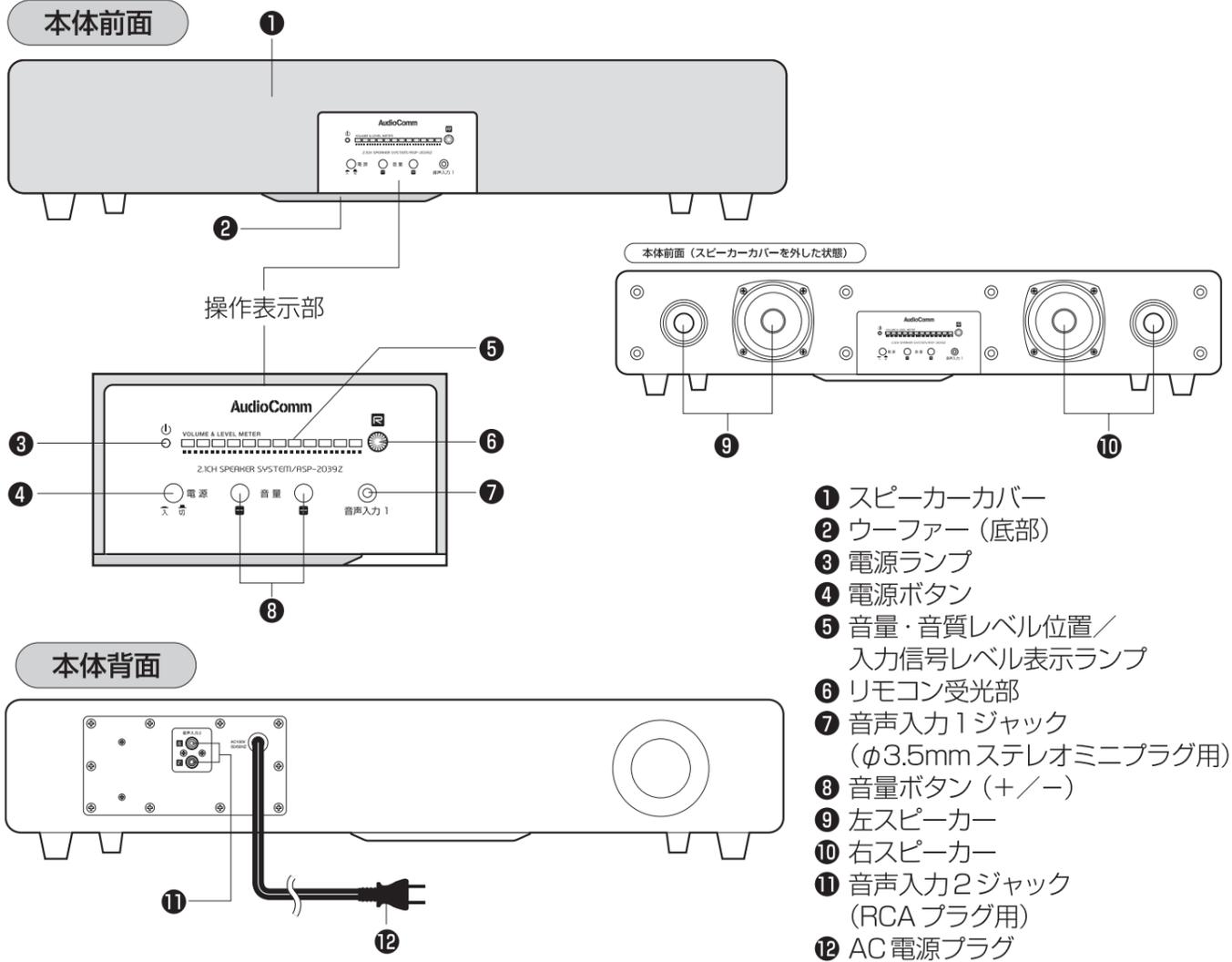
乾電池を安全にお使いいただくために

乾電池の液もれ、発熱、破裂等の事故を防ぐために、以下のことをお守りください。

警告	火中への投入、加熱、分解をしない／ショートさせない／新しい電池と使用した電池、種類の異なる電池(マンガンとアルカリ)を混ぜて使わない	注意	+-の表示通りに入れる／指定以外の乾電池を入れない／使い切った乾電池はすぐに取り出す／しばらく使わない時は乾電池を取り外しておく
-----------	--	-----------	--

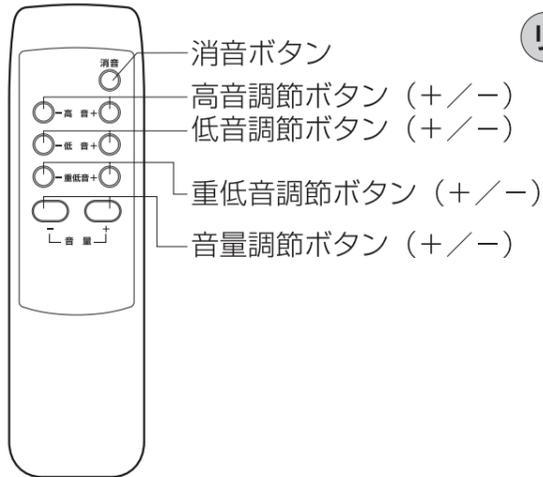
- 万一液もれしたら、液をよく拭き取ってください。また、液が皮膚や衣類に付着した場合はすぐに大量の水で洗い流してください。
- 万一、もれた液が目に入った時は、失明の原因となる恐れがありますので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師に相談してください。
- 使用済みの電池を廃棄するとき、自治体の条例などで決まりがある場合にはそれに従って廃棄してください。

各部の名称

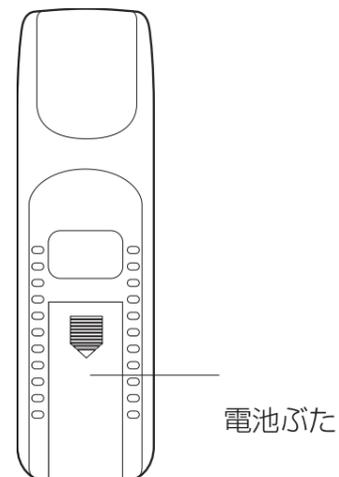


- ① スピーカーカバー
- ② ウーファー (底部)
- ③ 電源ランプ
- ④ 電源ボタン
- ⑤ 音量・音質レベル位置／
入力信号レベル表示ランプ
- ⑥ リモコン受光部
- ⑦ 音声入力1ジャック
(φ3.5mmステレオミニプラグ用)
- ⑧ 音量ボタン (+/-)
- ⑨ 左スピーカー
- ⑩ 右スピーカー
- ⑪ 音声入力2ジャック
(RCAプラグ用)
- ⑫ AC電源プラグ

リモコン前面

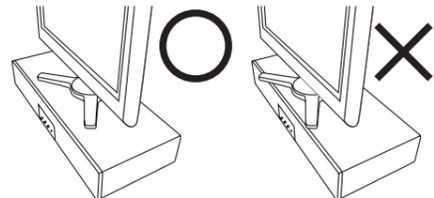


リモコン背面



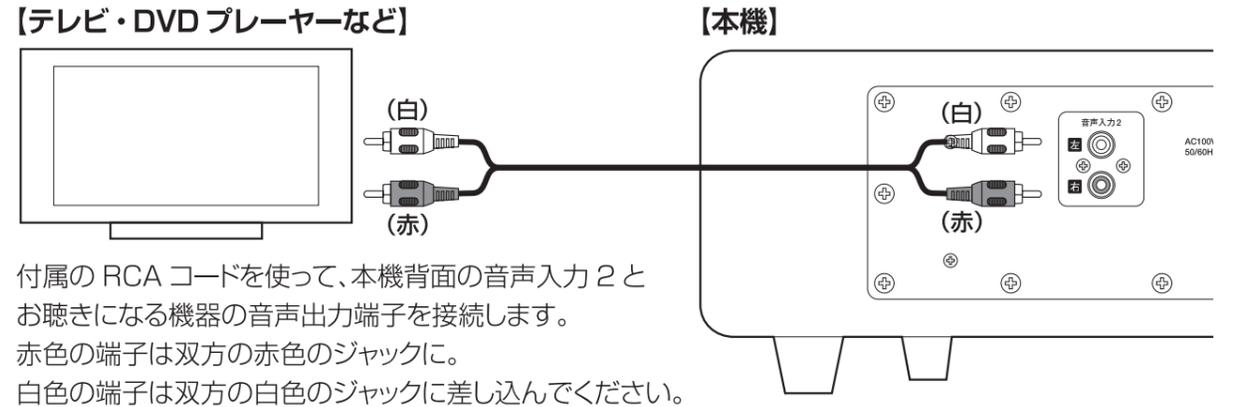
ご注意 テレビを設置する際は脚部のはみ出しに注意

本機の上にテレビを設置する際は、テレビ脚部が本機上面よりはみ出さないように設置してください。はみ出していると、振動・衝撃・地震等により転倒し、けがをする危険があります。



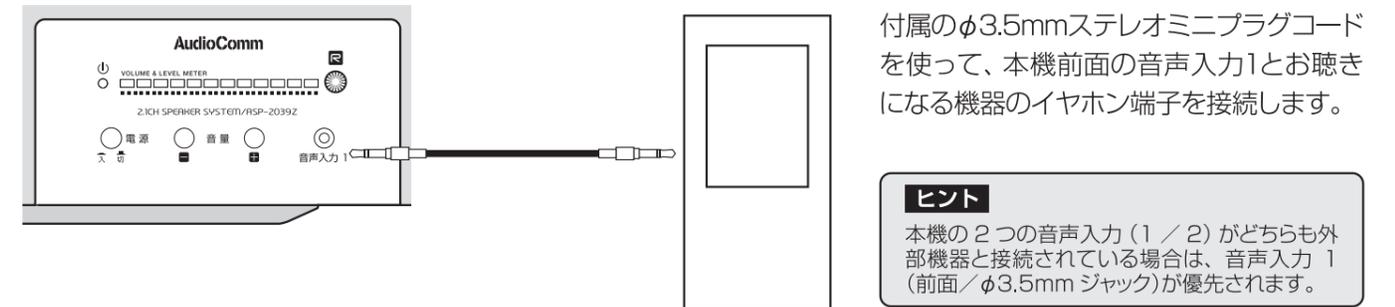
接続のしかた

背面の音声入力2を使って、RCAプラグで接続する場合 (テレビ・DVDプレーヤーなど)



付属のRCAコードを使って、本機背面の音声入力2とお聴きになる機器の音声出力端子を接続します。赤色の端子は双方の赤色のジャックに。白色の端子は双方の白色のジャックに差し込んでください。

前面の音声入力1を使って、φ3.5mmステレオミニプラグで接続する場合 (ポータブルCD・MD・MP3プレーヤー、電子楽器、パソコンなど)

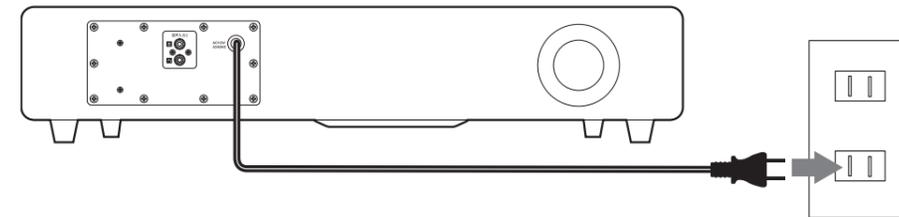


付属のφ3.5mmステレオミニプラグコードを使って、本機前面の音声入力1とお聴きになる機器のイヤホン端子を接続します。

ヒント

本機の2つの音声入力(1/2)がどちらも外部機器と接続されている場合は、音声入力1(前面/φ3.5mmジャック)が優先されます。

家庭用コンセントにAC電源プラグを差し込む

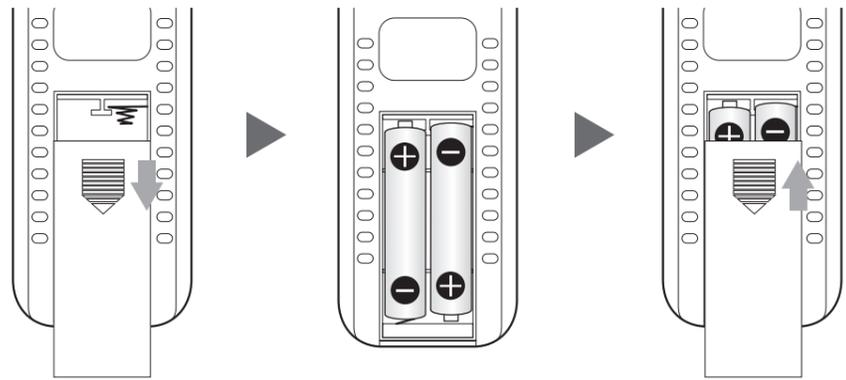


本機と接続機器双方の電源がオフになっていることを確認の上、家庭用コンセント(AC100V 50/60Hz)にAC電源プラグを差し込みます。

ご注意 本製品に設置可能なメーカーTV機種一覧 (2009年10月現在)

ソニー BRAVIA(ブラビア)	KDL-32J5・KDL-26J5・KDL-22J5・KDL-19J5
パナソニック VIERA(ビエラ)	TH-L32X1・TH-L26X1・TH-L20X1・TH-L17X1・TH-L32V1・TH-L32G1・TH-L32R1・TH-L20R1・TH-L17R1・TH-L20C1・TH-L17C10・TH-L17F1
シャープ AQUOS(アクオス)	LC-16E5-B/C・LC-20D50-B/W/R・LC-20E5-B
東芝 REGZA(レグザ)	32A8000・26A8000(K)/(W)・22A8000(K)/(W)/(P)・19A8000(K)/(W)/(P)
日立 W000(ウー)	L32-H03B/W・L26-H03B/W・L22-H03B/W
三洋電機 VIZON	LCD-20SX300(S)/(L)・LCD-23SX200(K)・LCD-20SX200(K)
三菱電機 REAL(リアル)	LCD-32MX30・LCD-19MX30B/S/R・LCD-19MX35B/S/R
ONKYO	LCD-15D1
LG	20LS7D
オリオン	LD15V-TD2・LD16-TD1・LD16V-TD2・LDA-160(BK)・LTD19V-EW1/EH3・LTD19V-ED1/TD1・LTD19V-H2・LTD19V-W2・LTD19V-W1/H2・LD22V-ED1/TD1・LTD22V-EW1・LD26V-D30・LD26V-D70・LD32V-D30
DX アンテナ	LVW-192/(K)/(R)/(W)・LVW-222(W)

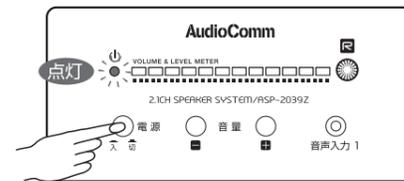
リモコンへの電池の入れ方



- 1 本体裏面にある電池ぶたを矢印の方向に引き、外します。
- 2 単4形乾電池（別売）2本を⊕と⊖の向きに注意しながら左図の通り正しく入れて、電池ぶたを閉めます（コイルバネがあるほうが⊖側です）。

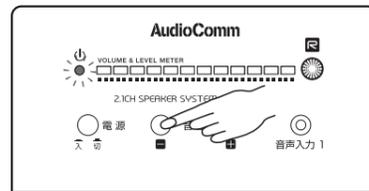
ASP-2039Z の基本操作

1 本体の電源ボタンを押す



音量・音質レベル位置／入力信号レベル表示ランプは、左端の1つめのランプが数秒点灯した後、消灯します。

2 本体またはリモコンの音量ボタン（-）を押して、音量を低めに調整する



ご注意

音量を大きく設定したまま接続機器の電源を入れると、突然大音量が出て聴覚障害の原因となることがありますのでご注意ください。

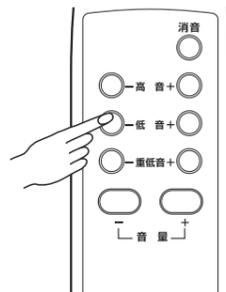
3 接続機器側の電源を入れ、テレビチャンネルを合わせる等の操作をする

4 本体またはリモコンの音量調節ボタンでお好みの音量に調整する

注：音量レベルを増減しますと、重低音レベルも音量レベルと連動して増減します。ただし、重低音レベルを増減しても音量レベルは変化しません。

5 リモコンの各種音質操作ボタンでお好みの音質に調整する

注：表示ランプについて 本体またはリモコンのボタン操作時以外は入力信号レベルを示しています。本体の音量ボタン、またはリモコンの各種音質・音量操作ボタンを押した時は、それぞれのレベル位置表示に切り替わります。

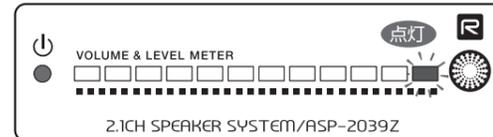


ご注意 表示ランプについて

- 本体またはリモコンのボタン操作時以外は入力信号レベルを示しています。本体の音量ボタン、またはリモコンの各種音質・音量操作ボタンを押した時は、それぞれのレベル位置表示に切り替わります。
- リモコンボタンは押すことに反応します（長押しでは反応しません）。

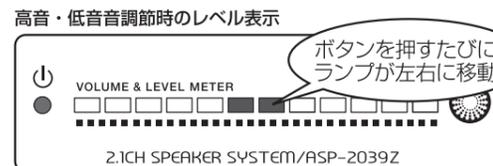
消音ボタン

一時的に音を消します（消音時は赤ランプが点灯）。もう一度押すと音が出ます。



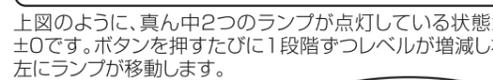
高音調節ボタン（+/-）

高音調節ボタン（+）を押すと高音域が強調され、高音調節ボタン（-）を押すと低く抑えられます。



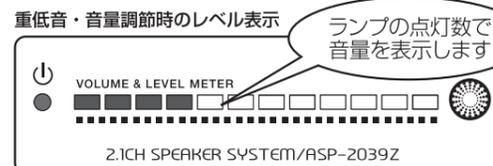
低音調節ボタン（+/-）

低音調節ボタン（+）を押すと低音域が強調され、低音調節ボタン（-）を押すと低く抑えられます。



重低音調節ボタン（+/-）

重低音調節ボタン（+）を押すと重低音が強調され、重低音調節ボタン（-）を押すと低く抑えられます。



音量調節ボタン（+/-）

音量調節ボタン（+）を押すと全体の音量が大きくなり、音量調節ボタン（-）を押すと小さくなります。

左からのランプ点灯数でレベルを表示します（全31段階）。左から7つ目のランプまでは3段階ごとに点灯数が増減し、以降は2段階ごとに増減します。

お手入れのしかた

- キャビネットの汚れは、柔らかい布でから拭きしてください。汚れのひどいときは布をぬるま湯か、薄めた中性洗剤で湿らせ、軽く拭いたあと、から拭きしてください。
- シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので、絶対に使用しないでください。
- 殺虫剤やヘアスプレーなどがかからないようにしてください。変色や変質の原因となることがあります。



シンナー、ベンジン、アルコールは使用しない

故障かな？と思ったら

症状	チェック項目
電源が入らない	●電源プラグがコンセントに正しく差し込まれていますか。
操作できない	●リモコンの乾電池は正しく装着されていますか。 ●リモコンの乾電池が消耗していませんか。
音が出ない	●外部機器は正しく接続されていますか。 ●外部機器側の電源は入っていますか。 ●外部機器側の音量が最小になっていませんか。 ●消音になっていませんか。
音声入力2の音が出ない	●音声入力1にプラグが差し込まれていませんか（音声入力1にプラグが差し込まれていると、音声入力2からの音は出ません）。

主な仕様

定格出力	総合41W（ウーファー25W+右8W+左8W）	
周波数特性	ウーファー	40Hz～100Hz
	左右スピーカー	60Hz～15kHz
スピーカー	ウーファー	100mm 8Ω
	左右スピーカー	45mm 8Ω×2 75mm 8Ω×2
電源	（本体）	AC100V 50／60Hz
	（リモコン）	DC3V 単4形乾電池2個
定格消費電力	50W	
外形寸法	幅60cm×高13cm×奥行25cm（突起物含まず）	
重量	約6.5Kg	
付属品	RCA プラグコード、Φ3.5mm ステレオミニプラグ、取扱説明書、リモコン	

※仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。※取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。

保証とアフターサービス

保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容および「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はご購入日より1年間です。

アフターサービスについて

- 調子が悪いときは
修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。
- 保証期間中は
保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間が過ぎた場合は
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。